

京都府CKDLN 活動レポート

京都代表 杉本 信子

京都では

- 京都では研究会や研修会はありましたが、CKDLNだけの集まりは無く、横の連携が取れていない状況 でした
- そこで、今年、声をかけて頂き、京都府内のCKDLNの方々にアンケートを実施
- その結果
- 各施設のCKDLNが、情報共有や研鑽の場を求めていることや、その専門性をどう活かせばよいか悩んでいる状況がわかりました

会の目的・目標

- 交流会の目的
 - 1) 事例検討などを行い、看護実践能力や看護の可視化する能力の向上を目指す
 - 2) CKDLNとして院外・院内の活動の活性化を目指す
- 2. 交流会の目標
 - ① 顔がわかり、連絡取れる関係づくり
 - ② 共に語り、学び、共感して、新しい情報・知識を共有
 - ③ 職場・地域に発信

会のメンバー

- 京都府内のCKDLN 24名
- オブザーバ 1名

- 交流会への参加メンバーはそのうちの15名
- ⇒ 回を重ね、参加人数を増やしていきます

活動状況

- 2024年4月 京都府CKDLNの実態調査アンケート
- 7月 第1回京都CKDLN交流会 WEB
- 8月 京都CKDLN News Letter No1 発信

- 2024年12月1日 第2回京都CKDLN交流会 開催
現地参加

今後の展望

- 顔の見える、連絡が取れるコミュニティをつくり、CKDLN同士が語り、学び、共感して、新しい情報・知識を共有し、職場や地域に発信していくためのノウハウを考える場を作っていく
- 交流会開催頻度、連絡網作成、会のネーミング等検討
- 交流会の定期開催、情報発信